

# 北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号  
TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453  
E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.24

平成27年 冬号

新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 石川 浩



新年明けましておめでとうございます。

昨年はアベノミクス効果により明るさを取り戻した感がありました日本経済も、急激な円安・株高が中小企業の経済活動や国民の生活環境へ諸々の影響を及ぼして来ており、このような状況下で中小企業の皆様にとりましては、厳しい局面が続くと思われまふ。

NPO法人北九州テクノサポートは中小企業の皆様をはじめ、九州経済産業局、福岡県、北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構、北九州商工会議所、(公財)北九州活性化協議会等々多くの関係団体、および大学、高専、等々の皆様のご支援の下、これまで積み上げてきました活動実績をベースとして、今年も中小企業の皆様にとどのようにお役に立つことができるのかを常に考え支援活動を企画・展開すると共に、従来の枠を超えて更に活動の場を広げていきたいと考えております。

昨年は、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会様との協働による「中小企業テクノフェア」での出展企業(川上企業)と地元企業(川下企業)とのビジネスマッチング事業の6年目を迎え、川下企業訪問数、商談面談数 等々、前年を更に凌駕した実績を上げており、出展企業様からのアンケートによりますとこれまでの最高の評価を受けております。

尚、従来の「福岡ものづくりアドバイザー(福岡県商工部)」、「FAIS中小企業支援センター登録アドバイザー」に加えて、北九州商工会議所とのアドバイザー制度を活用して「ものづくり試作開発等支援補助金」申請等への支援活動を開始し実績を上げております。

また、(公財)北九州活性化協議会が中心となって推進中の「産業人材育成フォーラム」におけるコーディネーター活動も引き続き継続推進致します。特にこれからは少子化に伴う労働人口の減少が企業の重大な課題でありその対策等が急務であると思ひます。

これまでの、技術開発・新製品開発に結び付く産学連携支援、エコ商品(エコプレミアム認定商品・サービス)の販売促進支援、環境経営や環境技術の開発・導入支援、エコアクション21の普及 etc. は勿論のこと、それらに加えて支援活動範囲を更に広げ、産業振興とまちづくりへ微力ながら貢献していきたいと考えております。会員は現在66名で、シニア世代が殆ど占めておりますが、仕事への情熱年齢はまだ若いです。関係諸機関の皆様のご厚情に深く感謝を申し上げますと共に、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

## Topics.1 新規事業の紹介

北九州商工会議所「ものづくり企業支援アドバイザー事業」のこの一年の実績

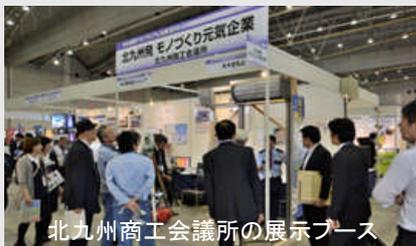
副会長 藤原 利久

北九州商工会議所(以下北商という)の要請を受けて「ものづくり中小企業技術支援」のアドバイザー活動を開始したことおよび昨年10月には北商の会員に入会したことを本通信の平成26年冬号にて報告しました。北商への会員登録は、所属部会は「機械・金属部会」、事業内容は「その他:コンサルティング」としてあります。ここではその後1.5年間の支援実績を報告します。

ものづくり技術支援のアドバイザー団体として、平成25年4月からモノづくり中小企業の支援を開始し、本件に関する北商の支援チラシも当方のメンバーで作成しました。平成26年9月まで1.5年間の支援実績は合計22件(社)、31回である。内訳は、ものづくり補助金申請支援17件(22回)、調達支援2件(2回)、事業改善支援1件(1回)と、ものづくり補助金申請支援が71%を占めます。

支援企業は数百名の中堅企業からわずか数人の小規模事業まであり、相談内容は高度な技術を持ち新たな開発を目指す企業等から極めて基礎的な案件まで千差万別であるが、KTSの豊富な人材で対応できています。高度技術の事例としては、「携帯電話回線を活用した気象観測データサービス」の補助金申請書作成支援があります。これは北商が中小企業等支援の認定支援機関として認定を受け、その申請書づくりをKTS会員に依頼されたものであり、ものづくり補助金 1,000万円が承認されました。

更に、北商からはKTSが支援する中小企業テクノフェアin九州2014に初めて出展支援してもらった。北商ブース(写真)は非常に盛況でした。北商~協会~出展企業~地元企業~KTS等により見事な協働の花が開いた事例となりました。このような地域協働の中小企業支援を更に盛り上げて北九州市地域の発展に貢献していきたいと思ひます。



北九州商工会議所の展示ブース

謹賀新年

平成二十七年 正月 理事一同

会長 石川 浩  
事務局長 小林敏郎  
副会長 重藤将美、安東 静、藤原利久、山本倅暉  
理事 影山隆雄、藤原成種、堤 増美、藤崎正昭  
石井 剛、松隈 齊、江副 綾人、松尾民憲  
監事 小野晃一、磯村福義



平成27年度 理事一同

## 新年の挨拶



### 平成27年 新年の挨拶 北九州市産業経済局長 西田 幸生

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、小規模企業の持続的な発展を図ることを目的とする「小規模企業振興基本法」が国により制定されるとともに、本市においても、中小企業振興の基本理念を定めた「北九州市中小企業振興条例」が制定されるなど、地域経済や雇用を支える中小・小規模企業への支援のあり方や、その活力発揮の必要性がクローズアップされた年でした。

昨年までの市制50周年記念事業を終え、新しい年を迎えた本市は、次の50年の発展に向けて力強い歩みを踏み出します。産業経済局におきましても、災害リスクが低いという強みを活かした企業誘致、ロボットや次世代自動車、サービス産業等の振興など、「北九州市新成長戦略」を着実に推進することで地域経済を活性化し、若者や女性の定着につながる多様な雇用機会を創出します。

また、本年夏頃の発表に向けて、旧官営八幡製鐵所関連施設の世界文化遺産登録の審査が進んでいます。登録されれば、本市の産業観光の目玉になるものと期待しているところです。これ以外にも、リノベーションによる商店街の魅力の再生などの支援も行い、一層のにぎわいを創出します。

特に、中小・小規模企業の振興におきましては、地元の中小企業支援機関や中小企業団体等と連携し、より一層効果的な支援を実施したいと考えております。本年も引き続き「北九州テクノサポート」の皆様のお力添えをいただきながら、製造業の技術力向上や産業人材の育成等に積極的に取り組んでまいります。

最後になりますが、本年が会員の皆様にとって幸多く、また、大きく飛躍する一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

## 新春放談 北九州の新年を語る

### ■株式会社 安川電機 代表取締役会長兼社長 津田 純嗣



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

私ども安川電機にとりましては創立100周年の年となりました。

創業の年1915年の出来事には、「東京の女学生の間で写真撮影が大流行」「南海電鉄で日本初の女性駅長誕生」「日本一ハワイ間の無線通信試験に成功」などが挙げられており、何やら今の世相と似通っているような印象を受けます。

当社の創業を振り返りますと、前年の1914年に欧州で第一次世界大戦が勃発しております。主戦場から離れた日本は大戦景気により工場の近代化が進み、当社創業の商品である「モータ」を動力に使うことが徐々に日本で拡がり始めました。当時はまだ、水力や蒸気エンジンが工場動力の主流でした。そのような時代に、創業者の安川第五郎は父・敬一郎より「国のために産業を興せ」との指示を受け、前身である「合資会社安川電機製作所」を創業いたしました。その後、数多くのチャレンジがなされ、時代と共に消えた製品も多数ありますが、「モータドライブシステム」、「サーボモータ」その応用の「ロボット」と、創業時の思いを発展させ続けた結果、今年100周年を迎えることが出来ました。夏には、新本社棟・安川電機みらい館・YASKAWAの森を含めた「ロボット村」を本社(黒崎)に開設いたします。地域の皆様にとりまして、「北九州のものづくり」に接する機会、次代を担う子供たちの「希望の場」となれば幸いに存じます。どうぞ皆様、足を運んでいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、北九州テクノサポート会員の皆様にとりまして、2015年が飛躍の年になることを心より祈念いたします。

### ■TOTO株式会社 代表取締役 副社長執行役員 猿渡 辰彦



新年あけましておめでとうございます。

昨年のが国の経済は、消費増税の実行により大きなうねりを受けた1年でしたが、アベノミクス効果により、これまでの閉塞感から脱出できそうな予感を感じさせる年でもありました。年末に行なわれました衆議院選挙の結果から、国民は1の矢2の矢の成果をある程度評価していることが伺われ、第3の矢に大きな期待が寄せられています。

しかし、アベノミクスにおける三本目の矢の担い手は、霞ヶ関ではなく民間であることは自明の理であり、とりわけ地域の活性が重要なファクターとなります。これまでも地域活性の取り組みは成されてきたと思いますが、これからはそれを九州全県一体となった経済活動に昇華させ、経済の連鎖が生まれるような取り組みが必要と考えます。北部九州はものづくりを中心に築いてきた産業基盤の強みを生かして、この経済連鎖の起点となっていかなければなりません。

当社では2015年は事業のグローバル化を一気に加速していく年と位置づけ、海外市場のニーズを的確に把握できる体制の構築と、多様化と効率性を同時に追求していきたいと考えています。2013年には地球の人口が71億人を超えました。人口の増加は水の慢性的枯渇を生みますが、当社ではこれまで培ってきた節水技術を駆使してこの問題に貢献し、北九州のものづくり力を世界にアピールしていく、そんな1年となるよう取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましては、KTSのネットワークを活かし、更に飛躍される1年となりますことを祈念いたします。

## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介いたします。

### ■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>  
NPO-KTS通信Vol.24広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

### 経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



### 大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1  
TEL: 093-871-1631(代) FAX:093-883-2151  
<http://www.taiko-ref.com>



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスを提供します。

代表取締役 有 蘭 央



〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5  
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670  
<http://www.arizono.co.jp/>

## 新春随想



平成27年 新春随想 公益財団法人北九州産業学術推進機構 理事長 國武 豊喜

新年 あけましておめでとうございます。

北九州テクノサポートの会員の皆様には、日頃から公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業に対しご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願いたします。

さて、FAISはこれまで地域企業の技術開発とその事業化の支援に加え、中小企業支援センターを中心とした経営力強化の支援に取り組んでいますが、本年度も、販路開拓・拡大を目的とした大手企業とのビジネスマッチングの場の提供、地域企業の優れた製品・技術の開発と販売促進の支援、きめ細かな創業支援など、北九州市の成長戦略の大きな柱である「地域企業が元気で活動し続ける環境整備」に向けた取り組みを強めていきたいと考えています。

FAISは多くのものづくり企業が存在する北九州市の産業支援機関として、地域企業、特に中小企業と大学との連携・協業の接着剤の役割を担っていますが、近年、ものづくりのデジタル化・ロボット化・サービス化が急速に進んでおり、こうした技術の動きや産業の新しい姿を踏まえつつ、産学連携をさらに進めていく必要があると考えています。

FAISが目指す産学連携を進めていくためには、豊富な専門知識・技術を活かし、地域中小企業の技術力強化の支援に取り組んでおられる皆様のご協力が必要です。皆様にはさらなるお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、北九州テクノサポートの会員の皆様にとりまして本年がよき年となりますことを心からお祈り申し上げます。

## 新春放談 北九州の新年を語る

### ■日産自動車九州株式会社 代表取締役社長 柴崎 康男



新年あけましておめでとうございます。

日産自動車が九州で生産を開始して、今年の7月で40年を迎え、年度中盤には累計生産台数も1500万台に到達する見通しです。ここまで支えて戴いた地域の皆様、協力会社の皆様に改めて感謝申し上げます。

現在、ここ九州北部は、他社の進出もあり、年間140-150万台を生産する自動車産業地帯になりました。多くの部品サプライヤーさんにも関東・中部・近畿から進出して戴いて

おります。更に、広島やお隣の韓国慶尚南道まで加えて見ると、500万台近い生産規模の「東アジア自動車産業地帯」が形成されている事になります。

これからの「自動車」はどうなっていくかという事を考えると、「環境(再生可能エネルギー化)」「安全(高齢化対応・自動化)」「ITとの融合」などがキーワードになると思いますが、これらの新技術を実用化・商品化していく為には、膨大な投資と広範囲な技術的ノウハウが必要となり、今までのように自動車会社単独での実現は不可能になりつつあります。既に進行中ですが、これからは、国境や業種を超えたコラボレーション、ジョイントビジネスが必須になってきます。

ここ北九州は、鉄鋼産業が長い歴史の中で育んできたモノづくりのDNAや自動車産業の進出でその裾野が広がったモノづくりや物流・サービス産業の基盤があります。更に、産学官や各種組織・団体では、技術革新、新技術の実用化、産業育成にも熱心に取り組まれています。そして、「福岡から日本を変える」「九州発グローバル」「北九州新都構想」等々、熱意と意気込みが感じられる言葉も耳にします。

2020年の東京五輪は、前回同様、日本の誇る技術を世界に発信する機会にすべきですが、東アジア自動車産業地帯の中心地である北九州は、その為の重要な役割を果たせる条件が揃っていると思います。私も日産自動車九州も、その役割の一端を担えるよう、又、これからも地域の皆様に信頼される工場であり続けるよう、弛まぬ努力をしてみたい。今後とも、皆様のご指導・ご支援をお願い申し上げます。

### ■西日本産業貿易コンベンション協会 専務理事 古賀 敬三



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新春早々から第一回北九州マラソンが開催され当協会の国際会議場前がゴール地点となったことは、誠に名誉なことでありました。

これも常に日頃からの多種多様なイベント会場となって、市民の皆様からなくてはならない大型イベント施設である証だと重要性と責任を再認識致した次第です。当協会は、公益法人として産業振興、国際化推進、地域振興に貢献することを望まれております。その一環として毎年10月に開催されている中小企業テクノフェアin九州2014(他2フェア同時開催)で、2009年から展示会を通して大変お世話になっているNPO法人北九州テクノサポート(以下KTS省略)の皆様へ新年のご挨拶を申し上げたいと存じます。

中小企業テクノフェアin九州は、日本経済のモノづくりを支える中小企業の発展を目的に毎年開催され大きな成果を得て盛況のうちに無事終了することが出来ました。これも各中小企業支援機関の皆様のお蔭でもありますが、やはり展示会の中心的な役割であるビジネスマッチング事業に於けるKTSの皆様のご活躍が一番大きく、一言では申せない大変なご苦労とご尽力を賜っていること、改めて御礼をお申し上げます。

2014年は前年の1.5倍(58社)に増加した出展社のビジネスマッチング活動は、日頃の技術支援活動に於ける豊富な知識と経験がなければ出来ないことであり、出展社の評価も年々高くなり2014年は63%がマッチングの効果があると有難い評価を頂きました。初日の交流会では、記念講演をされたTOTO(株)上席執行役員福田様も交えて、出展社、支援機関、KTSの皆様がモノづくり情報・技術交流が行われ大いに盛り上がったことは展示会成果の一つと考えております。2015年も既に開催が決定しており、KTSの皆様と共に中小企業テクノフェアin九州を通して中小企業の発展と地域振興に全力で取り組んで参りたいと考えておりますので、何卒お力添えを頂きたく、心からお願申し上げます。

## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

### ■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信Vol.24広告3-4

**カースル** 株式会社  
家庭用・業務用フィルター

福岡県で一貫した生産管理で安心の品質をお届けします  
家庭用・業務用フィルター製造販売  
URL: <http://www.casie.co.jp>

■特殊フィルターの特性試験  
平成26年3月に、ベッターナの集塵試験を一般財団法人カケンテストセンターに依頼したところ、PM0.1(0.1マイクロメートル)の超微小粒子の捕集効率が75.5%という試験結果が得られました。

代表取締役  
**渡邊 健司**  
Kenji Watanabe  
〒800-0115  
北九州市門司区新門司1丁目9-6  
TEL:093-481-1212

PM2.5粒子状物質も捕集する  
□ベッターナ質 フィルター  
<http://www.casie.co.jp/campaign/pm01.html>

**株式会社 神垣組**  
Kamigakigumi.inc

神垣組(かみがきぐみ)は左官工事で、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残していきたいと考えます。

水辺の環境を浄化する  
水草ポット  
2000年・福岡産業デザイン賞優秀賞を受賞した。

水質浄化効果を持つ環境保全型  
護岸ブロック、チャコケン  
あさひ財団・日刊工業新聞社主催  
第12回中小企業優秀新技術・新製品賞で、奨励賞を受賞した。

代表取締役 **神垣 三次**  
〒819-0165 福岡市西区今津5413-10  
TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070  
<http://www.kamigakigumi.co.jp/>

## 新春随想



### 平成27年の新春随想 福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 井本 誠二

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。NPO法人北九州テクノサポートにおかれましては、「ものづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」という理念のもと、平素から本県産業の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、我が国経済は緩やかな回復基調が続き、本県景気にも持ち直しの動きが見られた年でした。しかしながら、急激な円安等もあり、中小製造業の皆様にとっては景気の回復を実感しにくい年でもあったと存じます。

また、5月に日本創生会議が、「2040年には、全体の5割の自治体で若年女性が半減し、将来消滅するおそれが高い」とするセンセーショナルな発表を行い、人口減少が大きな社会問題としてクローズアップされました。

福岡県では、昭和45年以降、人口は増え続けており現在509万人となっていますが、国の人口問題研究所の推計によりますと、本県もあと数年で人口減少に転じるが見込まれています。

そのため、県内に魅力ある雇用の場を数多く創出し、若者の定住を維持拡大していくことが必要となっています。特に、事業所数で県内の99%を占める中小企業の皆様の更なる成長・発展が重要です。

昨年、本県は商工部本庁組織を再編し、創業から成長・発展までの一貫した中小企業支援体制を構築いたしました。当課におきましても、工業技術センターによる技術支援、補助金による新製品開発支援、特許等の取得・活用支援、ものづくり人材の育成等の中小企業技術支援施策を、関係部署・機関と連携しながら推進してまいりました。本年も、ものづくり中小企業の競争力強化に向けてしっかりと取り組んでまいります。今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、今年1年が皆様にとりまして、幸多く、大きく飛躍する年になりますことを心からお祈りいたします。

## 新春放談 北九州の新年を語る

### 九州工業大学

#### 学長 松永 守央

新年明けましておめでとうございます。



日本経済はデフレから脱却しつつあるが、安定した成長には程遠い情勢にあります。また、大災害や周辺国との外交危機に伴う国家財政の負担増や、人口減と高齢化も将来を危惧する原因です。

人口増に転換したとは言えないまでも、九州は特殊出生率の高い地域です。九州の経済活動が好転すれば、日本経済の起爆剤となり、人口減を止める契機となります。アベノミクスの第3の矢である民間投資を促し、国民の消費拡大を図るには、各地域が斬新なアイデアを考案し、総力で地域イノベーションを実現することが不可欠です。北九州市圏には培ってきた技術力と知力があり、世界に誇れる人材が蓄積・育成されています。環境・エネルギーのみならず、ロボット、医療、マテリアルなどの先端力、近隣諸国との交流によるインフラ輸出やイノベーションによる街の再生など、他地域の参考となる動きも活発です。

地域創生の重要性が叫ばれていますが、実現には少なくとも二つの要素が必要です。まず各地域が競争して総合的な経済活性化策を迅速に実行すべきです。しかし、国家機能の地方分散を、政府や企業などが意識しないと、地方創生はありえません。高度IT社会では東京圏と地方の距離が縮まっており、物価の安い地方での活動が総コスト削減と豊かな生活につながります。地方への移転は一次産業の高度化を促進し、安全かつ高品質の製品の輸出を重要産業に押し上げます。同時に、日本の良さを知った観光客の増加とクールな日本製品の輸出が進む、ポジティブスパイラル経済を生み出します。

北九州市圏がその中核都市として発展している、今年の初夢です。

### 北九州市立大学

#### 副学長 梶原 昭博

新年おめでとうございます。



昨年は1月のSTAP細胞作成のニュースから始まり、12月の唐突な総選挙で締めくくるといっていい1年でした。あれだけ世界を席巻したSTAP細胞は結局何だったのか、また高い支持率を維持していた成長戦略は単に財政出動による円安と株価のみの政策だったのか、そして総選挙の具体的な争点は何だったのかわからないままに2015年を迎えました。しかし2020年東京オリンピック招致と10月のノーベル物理学賞受賞はこれまでの国民の閉塞感を打破するような夢のあるニュースでした。

総じて日本の技術者は米国等に比べて冷遇されていると言われますが、山中教授のノーベル医学・生理学賞受賞に続く3氏のノーベル物理学賞受賞は理工系学生や若い技術者・研究者に勇気と希望を与える意味でも意義深い出来事でした。特にiPS細胞や青色LEDは我々の身近な生活に直結し、関心の高い技術であり、次世代の技術者や研究者にも大きな夢を与えてくれます。しかし子供達の理科離れや工科系学生の学力低下は深刻であり、大学教育だけでは限界があります。やはり科学技術が我が国の国際競争力を左右するという認識と危機感を国民一人ひとりに持って欲しいと願いたい。一方では科学技術の爆発的な進歩と社会の急速な変化・複雑化に伴い、これまでの知識や技術、経験では対処できないような新たな課題もでてきています。単に知識や専門能力だけでなく、社会の変化や技術の変化に対応できるような教育も必要になってきています。と言っても大学教育だけでは限界があり、日本の教育そのものの在り方から見直す必要があると考えます。

さて本学は3月で環境技術研究所を開設して4年目を迎えます。これまで先端的研究拠点形成と若手研究者・技術者の育成をスローガンに取り組んできました。これからはこれまでの研究成果を実用化や地域の課題解決に繋げたいと思いますので、NPO法人北九州テクノサポートの皆様のご協力をお願い致します。

## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

### 賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>  
NPO-KTS通信Vol.24広告5-6



エコアクション21  
認証・登録番号  
0008225

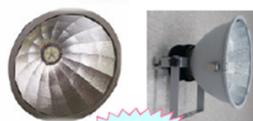


株式会社コーセイジャパン

限りある資源を未来に 地球環境に貢献

LCC(ライフサイクルコスト)の優れた省エネ!

(新商品)  
高効率LED投光器



最大90%  
省エネ!

当社はLED照明の開発メーカーです。  
照明の明るさを落さず50%~90%の省エネができる商品を取り揃えております。  
低コストで長寿命(3年保証付)の安心省エネ!  
防水型投光器(700W相当)を新発売しました。

〒800-0313 福岡県京都郡苅田町磯浜町1丁目16-9

TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141

<http://kosei-jp.cdx.jp/>



株式会社西井塗料産業  
NISHI PAINT INDUSTRY CO.,LTD.

<http://www.nishii.co.jp/>

価値ある提案を通じて

産業の発展と生活文化の向上に貢献

〒812-0007  
福岡市博多区東比恵3丁目4番6号

お問い合わせ ご質問・ご相談はお気軽にお寄せください  
092-415-4518 [eigybu-bu@nishii.co.jp](mailto:eigybu-bu@nishii.co.jp)

## Topics 2 北九州産業人材育成フォーラムを支援

### 就職・採用活動開始時期変更により企業にとってインターンシップの重要性高まる 産学連携支援Gr.長 影山 隆雄

北九州の地域連携型インターンシップ事業は、平成26年度で4年目を迎えました。地元の中小企業にとってその重要性がますます高まっています。

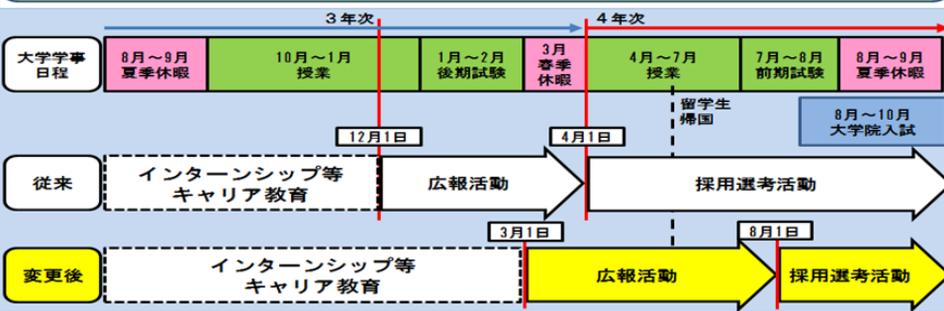
その理由は、平成25年4月19日に開催された「経済界との意見交換会」において、安倍内閣総理大臣から経済団体に対し、平成27年度卒業・修了予定者（現在の大学3年生等）から、人材育成強化の観点から、学業に専念し、多様な経験ができる環境を整えるとともに、海外留学からの帰国者の就職環境の改善を図るため、就職・採用活動開始時期の変更について、広報活動時期は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降に開始し、その後の採用選考活動については、卒業・修了年度の8月1日以降に開始することを要請したことによります。就職・採用活動開始時期変更に伴うスケジュールを分かり易く図に示します。



九州工業大学合同インターンシップミーティング 2014.6.18

#### 就職・採用活動開始時期変更後のスケジュール

平成27年度卒業・修了予定者（現在の大学3年生等）から、広報活動は、卒業・修了年度に入る直前の**3月1日以降**に開始、その後の採用選考活動は、卒業・修了年度の**8月1日以降**に開始になります。



出典：[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/ywforum/zikihenkou\\_info.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/ywforum/zikihenkou_info.html) の内容にインターンシップ等キャリア教育

この図に示す通り、企業にとって平成26年度から広報活動と採用選考活動からなる就職・採用活動開始時期が従来に比べて3ヶ月遅れて、期間も10ヶ月間から7ヶ月間に短縮されますが、3年次の夏季休暇から始まるインターンシップ等のキャリア教育の期間が増えます。政府は、このような改革を支援するために、キャリア教育やインターンシップへの支援を強化するとともに、中小企業の魅力を学生に発信する取組みに力を入れています。

一方、一般社団法人 日本経済団体連合会は、平成26年9月16日に改定した「採用選考に関する指針」の手引きの中で、「広報活動の開始日より前に実施するインターンシップについて、産学連携による人材育成の観点から、学生の就業体験の機会を提供するものであり、社会貢献活動の一環と位置付けられるものである。したがって、その実施にあたっては、採用選考活動とは一切関係ないことを明確に行う必要がある。」と述べています。しかし、平成26年12月1日付けの日本経済新聞によれば、文科省調査では企業の94%が政府の要請を受入れていますが、一部にインターンシップを通じた解禁前の「青田刈り」が見られ、学生と早く接点を持つためにインターンシップを実施する企業が増えているとしています。

北九州の地域連携型インターンシップ事業では、平成26年度から始まった就活・採用活動開始時期変更を受けて、インターンシップにエントリーする学生が大幅に増加することを想定し、コーディネーター（KTS会員）11名体制で北九州市周辺までエリアを拡大し200社の企業を訪問し受入れ企業96社を開拓しました。受入れ企業でも中小企業の魅力を社長が直接に学生に熱く語りかける取組みを始め、インターンシップの効果を上げるために学生に課題を持たせて実習期間中に企業の機材などを使って解決させる取組みや金型の設計から製作まで実習している取組みなどのモデルケースも増えて来ています。経済産業省は、中小企業への取組み支援のため「成長する企業のためのインターンシップ活用ガイド」(<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/knowhowbook-all.pdf>)を発行しています。

### ■エコアクション21地域事務局福岡の活動状況

エコアクション21地域事務局福岡 事務局長 藤原成種

- (1)エコアクション21自治体イニシアティブプログラム及び関係企業グリーン化プログラムを年2回エコアクション21実践講座・集合コンサルティングと称して実施しています。今年度は、30社の受講者が受講し、認証・登録へと研鑽を積んでおられます。
- (2)北九州市長感謝状付与制度が発足して4年目となりました。エコアクション21登録事業者で市内の事業者の中から、他の模範となる成果をあげられている事業者を「環境にやさしい事業所」として市長から感謝状を授与し、その取組内容等をHP等に掲載することにより、市民や他の事業者に対して広く紹介する制度です。今年度は、八幡電機精工(株)、(株)愛和環境管理、新西工業(株)の3事業者が感謝状を授与される栄誉に輝きました。
- (3)エコアクション21認証登録事業者がいかに活動を維持継続してゆくかが、大きな課題となってきています。認証登録事業者に対するフォローアップセミナーを実施する必要があるとの見地から、当地域事務局が担当している事業者を対象に、今年度も北九州市、福岡市、大分市で既に実施し、引き続き佐賀市、山口市でも実施します。

### 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

### ■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>  
NPO-KTS通信Vol.24広告7-8



株式会社 **メタルテック**

金属製品・外装パネル・ルーバー  
光触媒工事・親水・防汚機能外装工事  
福祉施設・病院工事・防音手摺工事・防カビ工事

光が当たらなくても、親水性発揮!!



メタルウエットパネル  
Metal Wet Panel

雨が降るだけで汚れが落ちる  
金属製防汚パネル

〒810-0012福岡市中央区白金1-9-3

Tel:092-523-1513 Fax:092-523-1532 URL <http://www.metaltech.jp/>  
E-mail:metaltech@poplar.ocn.ne.jp



千草ホテル  
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1  
TEL093-671-1131  
<http://www.chigusa.co.jp>

# Topics.3 中小企業テクノフェアin九州2014ビジネスマッチング最高の成果

## ■中小企業テクノフェアin九州2014

担当理事 藤原 利久

(公財)西日本産業貿易コンベンション協会(以降協会という)主催の「中小企業テクノフェアin九州2014」のビジネスマッチング(以降BMという)支援事業を6年連続で受託しました。協会による全国への出展営業力は大きく、九州外からの14社(24%過去最高)と北九州商工会議所が初めて出展支援した6社(10%)を含めて、今年は昨年の1.5倍の58社(6年で最高)が出展しました。協会のお陰でKTSのBMIによる知名度も定着しつつあります。



中小企業テクノフェア2014の風景

産業別では、情報・電子機器・ソフトが17社(29%)、機械加工・金属と検査・自動車・メカ計18社(31%)と技術力のある企業が多かった。従来、比率としては最も多かった環境・バイオ・照明(省エネ)は企業数は増えたものの14社(24%)と相対的に比率は下がった。これらの中で初出展が37社(66%)と非常に高いのも協会関係者による営業活動の成果と考えられます。

これに対応するためKTSコーディネーター14名(昨年17名)が活動した。BM実績は、出展企業へのアンケート結果で「<BMの効果がある>」と答えた比率は63%で過去最高となり、KTSコーディネーターが勧誘した企業の来場数は106社に上り、商談面談回数は310回、延べ出展企業紹介数は1157社です。

その成果要因の一つに、KTSとして初めて行った出展企業の製品説明会が考えられます。

BMの基本は出展企業の製品の「売り(機能・特徴・効果等)」の理解が重要であるが、今回、



KTSブース前で協会の利島理事長、古賀専務理事に説明

全出展企業にそれぞれの展示商品説明会への参加を呼びかけた結果、17社の企業が応募され、4回に分けて実施しました。この説明会では展示企業に対する質問や要望が出されて活発な意見交換が行われ、コーディネーターの理解度と意欲の向上につながった。また、北商の初めての出展支援ブースは活況を呈し、地元活性化や北商・協会・地元出展企業・KTSの協働による地域発展という新しい風を起こしました。周辺の行政等が北商ブースを見学しモノづくりBM支援に関心を抱き、刺激を与えられたと考えています。



特別ブースにおける商談状況

### ■KTSの「ものづくり企業」支援実績例 —企業の困りごとの「駆け込み寺」としてご利用ください！—

1. 「ものづくり」公的資金の活用と応募支援
2. 「テクノフェア」等ビジネス・マッチング支援
3. 「大学・高専インターンシップ」受入企業開拓
4. 「福岡ものづくりアドバイザー事業」の支援
5. 「ものづくり企業」等の技術・開発・改善提案

### 株式会社 八重工業

#### 脱臭・殺菌 関連装置その他

当社は、40数年間、熱に係わる機器を開発・設計・製造・販売してきた実績があります。

■主な製品

- ・熱風炉・低温高温発生機・ミキシング排気ブース
- ・遠赤外線利用機器・排熱回収熱交換機・経冷却装置
- 各種機器の開発・試作等のご相談にも応じますので、「お問合せ」ください。

代表者 代表取締役 谷崎一彦  
住所 〒803-0862 北九州市小倉北区今町1-1-24  
TEL 093-561-7590 FAX 093-592-1285  
URL <http://www.15.ocn.ne.jp/~yaekoeyo/>

### 建造物に美を添える”研磨”という芸術

## 東洋ステンレス研磨工業株式会社

TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD

## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

### ■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR-募集中>  
NPO-KTS通信Vol.24広告9-10

### 株式会社 豊洋製作所

すなわち謙虚に無限の未来をひもひいていこう

水栓金具部品 医療機器部品

水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISOマネジメントシステムを適用した仕組みを実践し、環境改善にISO14001を運用・活用

◆代表者 取締役社長 小河原 悟  
◆本社・工場: 福岡県京都郡苅田町鳥越町1-44  
TEL 093-436-5200  
FAX 093-436-5207  
<http://www.hoyo-s.co.jp>

### シスメット株式会社

気象予報業特許 第51号

#### 感動を創造する 気象予報会社です。

System & Meteorology

私たちの仕事は、地球と真正面から向き合う仕事。

最新のテクノロジーと豊富な経験が必要。

私たちシスメット株式会社はそのどちらも欠かすことなく気象に関する皆さまのあらゆるニーズに応えています。

- ←風向風速発信器
  - ・風車型と比較して小型・軽量風向風速発信器
  - ・設置が簡単で低コスト
  - ・いつでも何処でも観測データが観測可能
- ←警報装置
  - ・従来品と異なり表示内容を任意に表示可能
  - ・設置が簡単で低コスト
  - ・防災に関わる気象情報を瞬時に表示可能

尚号 シスメット株式会社  
所在地 〒802-0979  
北九州市小倉南区緑ヶ丘2丁目8番11号  
TEL:(093)965-1033 FAX:(093)965-1055  
URL:<http://www.sysmet.co.jp/>

# 中小企業が期待するKTSの支援活動紹介

## ■産学連携支援活動

Gr.長 影山、副 藤崎

北九州地域では、地域大学・高専卒業生の地元就職率の低迷や中堅・中小製造業における研究開発人材の不足という問題があります。この課題解決のため、平成23年、(公財)北九州活性化協議会が事務局となって「北九州地域産業人材育成フォーラム」を設立しました。

その中で、NPO法人北九州テクノサポート(KTS)が「地域連携型インターンシップ事業」など北九州の産業人材育成の基盤固めの中核を担って活動を展開しています。平成26年度は、KTSのコーディネーター11名が企業開拓支援活動を行った結果、研修受入登録企業数が前年度の80社から96社に拡大し、研修参加学生数も138人に上りました。



北九大ひびきのH26.5.28  
インターンシップグループミーティング

また、福岡ものづくりアドバイザー事業の登録アドバイザー15名のうち13名がKTSの会員であり、県内ものづくり企業の基盤技術・技能分野で指導経験のあるメンバーが課題解決の支援をしており着々と成果が上がりつつあります。平成26年度は、これまでの依頼に延べ27回派遣し指導助言を実施して来ました。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構の経営実務支援アドバイザーにも会員3名が登録して活動を開始しました。

## ■IT支援活動

Gr.長 安東、副 松隈

中小企業へのIT支援事業として、小倉北区企業のホームページ追加作成支援、小倉北区の公的NPO法人のホームページ更新支援を実施した。

NPO・KTS内IT支援事業として、当NPOのホームページについて、全面的な見直し改訂等を実施、またKTSメールサーバーを北九州市内プロバイダーからNTTへ移管した。

## ■販売支援活動

Gr.長 山本、副 江副

平成21年から6年目になる中小企業テクノフェアでは本年は展示企業が1.5倍の58社となり、初の試みとしてコーディネーターに対する展示製品の説明会も行った結果、来場社・面談・商談等において最高成果が上がった。(環境技術支援Gr.と共同)



北九州テクノサポート展示ブース

次に、個々の企業との契約による販売支援活動も来年から現在の(株)楽々サービスの室内ゲーム機(楽々ミニゴルフ、ボーリング、スロットボール、三色輪投げ)に加えて、(株)加来野製作所の小型万能乾燥機と粉体機が加わり、KTS会員全員で販売して貰うことにしている。なお、個々の企業に対応する販売支援活動を販売支援Gr.として大きな事業に育てると共にKTSの柱の一つとしたい。

## ■ISO-EA21支援活動

Gr.長 松尾、副 松隈

ISO(国際規格マネジメントシステム)は、多様な国際規格の共通化に伴い2015年に大きな改正が予定されています。これに対して当支援Grでは支援活動計画通り、地場のISO登録企業を対象とした「ISO9001:品質マネジメントシステム改正対応セミナー」を計画し、その第1段として昨年12月6日にウエル戸畑にて開催しました。北九州市内及び苅田町より企業5社の参加により所期の成果を得ました。

また、EA21審査への支援では、審査人の審査技術及び専門基礎知識の担保として、力量向上に関する研修会を平成26年4月、7月、11月の3回にわたり実施しました。



ISO改正セミナー風景

## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

## ■協力会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR-募集中>  
NPO-KTS通信Vol.24広告11-14

**Matsushima**  
Matsushima Measure Tech

計る×技術で世界に向けて

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号  
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735  
URL <http://www.matsushima-m-tech.com>  
E-Mail [sales@matsushima-m-tech.com](mailto:sales@matsushima-m-tech.com)

**微美** 創造企業  
MEMS SOLUTION

【事業：超精密金型部品の製造】

我社は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか？」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。

これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。

**WORKS** 株式会社ワークス 代表取締役 三重野計滋(みへの けいじ)

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728  
E-mail: [info@wks-co.com](mailto:info@wks-co.com) <http://www.wks-co.com>

## 自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で 世界をリードする金型専門メーカー

高品質の金型を世界へ

**Uchida Co., Ltd.**  
株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38  
TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146  
本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6  
TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839  
E-mail: [info@uchidanet.co.jp](mailto:info@uchidanet.co.jp)  
URL: <http://www.uchidanet.co.jp>

**MIMM**

ミ-ム  
(未夢)

道路トンネル検査点検専用車両

**計測検査株式会社**

北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093(642)8231  
FAX:093(641)2010  
<http://www.keisokukensa.co.jp>

### 株式会社シスメット

12月2日に松隈理事が同社を訪問し、新たな市場への展開を見据えた福田社長の熱い想いをお伺いしました。

#### ■会社の沿革と業況

会社設立は平成8年であるが、昭和52年に創業した海洋気象情報サービスの事業を継承する形で気象情報の提供および気象観測機器とこれらに関連するコンピュータシステムを設計、製作している。

これまでの実績としては、平成8年から3度納入した北九州市若松沖にある白島国家石油備蓄基地のインターネットを利用した通船管理コンピュータシステムおよび平成23年に国土交通省港湾局から受注した「強風によるコンテナクレーン逸走事故の対策」がある。

当社は同業他社が携帯電話コンテンツ等を利用したサービス提供に軸足を移す中、気象・海象観測機器の設置・メンテナンス等のハード面と、システム開発、気象予測の3事業を融合させた新しい情報サービスを開発・提供することで業界内での差別化を図っている。

現在、行政関連、地方自治体、港湾工事・海運・港湾荷役業者を中心に全国約300社と取引しており業績は順調に推移している。

#### ■今後の展開と課題

昨今、局地的な気象災害が多発傾向にあるが、局地的な気象情報サービスの社会基盤は充分でなく、各地で不幸な人的災害が発生している。このような事態に対応するため、災害が予測される危険な地域に当社で新しく開発した観測機器と通信機器を設置して頂き、インターネット回線を活用してリアルタイム24時間体制の自然災害・防災情報サービス提供を基本とした事業の展開を目指している。このため、地方自治体や警備会社等とのタイアップを図っていく。

#### ■KTSへの期待

産学官連携の促進、公的機関の橋渡し、海外展開に関する情報・技術支援を引き続きお願いしたい。

#### ◇会社概要

■本 社 北九州市小倉南区徳力新町2-8-11 TEL:093-956-1033  
 代表者 代表取締役社長 福田 敏 設 立 平成8年7月10日  
 資本金 3,200万円 従業員 15名  
 (気象予報士:5名、コンピュータ技術士:3名)  
 ■事業内容 気象海象予測・コンサルタント、気象海象観測装置設置・維持管理、気象海象観測・調査解析、環境調査・予測シミュレーション、コンピュータシステム・ソフト開発販売

### 株式会社豊洋製作所

平成26年11月28日に北九州空港へ向う途中、苅田町鳥越町の同社に松尾理事が訪問し、小河原悟社長にインタビューしました。

本社・本社工場と第二工場でそれぞれ衛生器具部品・医療機器部品など非鉄金属の精密加工による製造がされています。

#### ■会社の沿革と業況

当社は、1953年に創立以来約60年以上、一貫して、衛生器具部品の水栓金具を製造してきました。1959年の中小企業設備近代化促進法による5ヶ年計画以降より今日まで、NC自動旋盤を主力として、事業に応じた設備投資を行う一方で、永年培った製造ノウハウを新規製品に活用した新たな事業展開の一環として、2010年より医療機器製造業の認可を受け生産をしています。

また、ISO品質マネジメントシステム及びISO医療機器マネジメントシステム導入、並びにエコアクション21展開による顧客ニーズへの信頼・安定による品質確保、及び従業員の能力向上と技術力継承における人材育成に鋭意努力されている状況です。

#### ■今後の展開と課題

当社の利点は、事業活用への新たな展開として、北九州工業地域に隣接し、苅田工業団地と北九州空港周辺の立地にあることです。これを活用した今後の事業展開への継続性が重要な課題とされています。これに前提条件となるのが、精密加工の命題とされている生産効率の向上及び設備装置と計測機器の高稼働の実現です。今後は事業展開の計画を行うには、利害関係者を含め多様な情報収集・活用と人材育成が要とされています。

#### ■KTSへの期待

KTSとは、インターンシップ制度を通じてご指導・支援などお受けております。今後は、異業種交流の機会や新技術の紹介など、当社に有効な情報及びその活用策等について、ご支援を受けたく思います。今後とも、よろしく願います。

#### ◇会社概要

■本 社 福岡県京都郡苅田町鳥越町1番44 TEL:093-436-5200  
 代表者 代表取締役社長 小河原 悟 設 立 1958年4月  
 資本金 1,000万円 従業員 90名(正社員)  
 □工 場 福岡県京都郡苅田町鳥越町1番44 TEL:093-436-5200  
 ■事業内容 水栓金具部品及び医療機器部品の製造  
 URL <http://www.hoyo-s.co.jp/>



小河原 悟 社長



工場内部風景



現場を常に観測 予測の精度を高める

#### ■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さんが持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

#### ■会員・賛助会員の会費

・正会員入会金:5,000円/年会費:5,000円  
 ・賛助会員(法人)入会金:10,000円  
 年会費:20,000円/1口  
 (個人)入会金:5,000円  
 年会費:5,000円/1口

#### ■プラスα:「中小企業における新製品開発資金調達について」

(国や地方自治体が行っている中小企業向け施策「助成金・補助金」例えば、「ものづくり補助金」等を利用してみませんか?)  
 …新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考えて見ては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まってからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思います…?その時は、当NPO法人にご相談下さい。  
 ⇒当NPO法人は、約70名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。



＜詳細情報は下記ホームページから＞

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受付中  
 ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。  
 技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート  
 会報 「北九州テクノサポート通信Vol.24」  
 平成27年1月10日 印刷発行  
 ●発行・編集: NPO法人北九州テクノサポート  
 北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8F806号室  
 TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:npo-kts@npo-kts.org